

# 平成29年度 議会事務局 方針書

議会事務局長 高橋 嘉

## 1. 議会事務局の使命（役割）

議会事務局は、議会の補助機関として次のことを使命とします。

①議会の「力」（地方自治体としての意思決定、執行機関の監視・評価、議会側からの政策提案など）が十分に発揮され、円滑な議会運営が図られるよう議員の職務を補佐すること。

②議会の「力」を高めるため、議会と市民の連携構築をサポートすること。

## 2. 平成29年度における課題（前年度の振り返りから）

①本年改選を迎えることもあり、市民から「親しみやすく頼れる議会」「説明責任を果たしている議会」と言われ続けるため、より一層の取り組みの強化が求められます。このため、議会報告会の充実はもとより、市民との懇談会の開催など市民と議会をつなぐ多様な取り組みの展開が課題となります。

②議会基本条例の目標実現に向けた支援及びその進捗状況を検証し、改革し続けるため、各課題解決へ向けた取り組みや政策法務能力等、事務局職員の更なる資質向上が求められています。

## 3. 平成29年度の『スローガン』

**市民参加を推進し、市民に親しまれ信頼される議会を支えよう。**

## 4. 年度目標となる方針（目標）

①ICT等を活用した効率的な議会運営と議員活動の充実、及び効果的な情報発信に努めます。

②市民参加を推進し、多様な民意を反映できる議会機能を充実させます。

③多様な社会情勢の変化に適切に対応できる議会事務局を目指します。

## 5. 重点取組項目

(1)	項目	①ICT等を活用した効率的な議会運営と議員活動の充実、及び効果的な情報発信に努めます。
	取組内容	・タブレット端末の活用の円滑化により議員活動を充実させ、議会改革の推進を支援します。 ・議会だより、横手かまくらFM、インターネット、フェイスブック等を活用した情報発信など広報活動の充実を図ります。
(2)	項目	②市民参加を推進し、多様な民意を反映できる議会機能を充実させます。
	取組内容	・「議会報告会」など広聴活動の強化に努めながら、議会と市民の直接的な意見交換の場の充実と開催を支援します。 ・市民の意見を把握し、議会で議論する仕組みとして、「市民と議会の懇談会」の開催を支援します。
(3)	項目	③多様な社会情勢の変化に適切に対応できる議会事務局を目指します。
	取組内容	・事務局内研修を実施し、議会運営のノウハウや社会情勢等の必要な知識の習得に努めます。 ・全国の自治体から行政視察を積極的に受け入れることにより、自らの研鑽につなげます。 ・他市議会事務局との合同研修や研修機関における専門研修に参加し、スキルアップを図ります。

## 6. 方針に対する年度上期（4月～9月）の取組みの状況 【現状】

(1)タブレット端末の活用により、情報伝達の迅速化や政務調査活動の円滑化など、議会運営及び議員活動の効率性の向上により議会活動の全体的な充実が図られた。

(2)議会報告会・意見交換会は、6月26日から7月7日までの間、議員4班体制により市内16会場で開催し、市民延べ336人が参加した。その一方で、「市民と議会の懇談会」は開催に至っていない。

(3)議員活動を適切にサポートできる事務局体制の強化に向けて、職員の事務能力の向上を図るため各種研修会への参加や事務局内部での研鑽に努めた。

## 7. 年度下期（10月～3月）に向けた課題と取組みの方針【ギャップと対策】

(1)タブレット端末を効率的、効果的に活用しペーパーレス会議を充実させ、議会運営の更なる円滑化に努める。また、災害時におけるタブレット端末の有効活用を検討し、市民の安全・安心な生活を守るため、議会としての危機管理体制の構築を支援したい。

(2)改選後の議会体制を周知するため、議会だよりやホームページ、フェイスブック、かまくらFMなどの手段を活用して情報発信に努める。また、「市民と議会の懇談会」の開催についても早期に検討を図っていく。

(3)全国的な先進事例をもとに事務局内外での調査・研修を深め、議員の政策立案に資するなど本質的な議会改革の推進を後押しできる事務局の資質向上に努める。

## 8. 総括 取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】

(1)タブレット端末の活用により、ペーパーレス化が格段に進んでいる。同時に様々な情報共有が迅速化、効率化されている。今後は、議会運営において完全ペーパーレス化を目指すと共に、効果的なICTの運用の検討についても支援していく。

(2)市民に開かれた議会改革を推進させるため、議会だより・ホームページ・フェイスブック・かまくらFMなどで議会活動の情報発信を充実させ、一方で市民との懇談会や議会報告会・意見交換会などで市民の声を吸い上げる機会の拡大を後押しする。

(3)議会改革の議論が高まるにつれ議員活動も多様化し、議会事務局のサポートも多岐にわたっている。幅広い議員活動の充実と円滑化に向けて、各種研修等に積極的に参加し事務局職員の自己研さん、資質向上に努める。